

杉並区における多文化共生キーパーソンについて

多文化共生基本方針では、日本人と外国人をつなぐキーパーソンの人材育成に取り組むこと、外国人の地域参画のきっかけをキーパーソンとともに創出すると記載しています。このキーパーソンに関する杉並区の位置づけを以下のとおり整理します。

1 杉並区における多文化共生キーパーソンの位置づけ

自身の活動範囲内において、在住外国人に対して、①行政情報の周知協力②日本の生活ルールやマナーの周知・啓発協力③地域参画を目的とした交流事業に取り組む人材。

	項目	内容
1	主な候補者像	● 日常的に外国人と関わっており、信頼関係が築けている方 (例) 特定の国のコミュニティリーダー 日本語学校やインターナショナルスクールの教員 多文化共生の推進に取り組む団体の構成員 留学生を受入れている寮の管理人 など
2	キーパーソンに必要な知識・スキル	● 行政情報・制度に関する基礎知識（防災、教育、税金、生活ルールやマナーなど） ● 言語力（やさしい日本語を含む） ● 異文化理解の姿勢
3	候補者の育成方法	● 行政情報・制度を学ぶ講座 ● やさしい日本語の学習講座 ● 講座や交流事業を通しての異文化理解の向上

2 今後の進め方

～令和8年10月

○「多文化共生キーパーソン」の制度概要を確定。

○現在、区内で日常的に外国人と関わり、信頼関係を築いている方をピックアップ。

～令和8年12月

○「多文化共生キーパーソン設置要領」を策定。

○多文化共生キーパーソン候補者への協力依頼・決定。

令和9年1月～

○候補者を対象に、知識やスキルを学ぶ研修を実施する。

→参加者の意見をもとに講座をブラッシュアップ。

令和9年4月

○「多文化共生キーパーソン」の登録・運用開始。

※並行し、外国人の地域参画事業等を実施し、日本人と外国人お互いに顔の見える関係を構築していく。